行用用 二一十一 四四 五三 十十 第 6 6 四

的食事と

北日本汽船株式會社では新興満洲と内地とを結ぶ最短が野護満洲と内地とを結ぶ最短が高い、天草の雨丸を浮がる北日本汽船株式會社では「大きなの大君板を立てることになったが、新京標には香山氏 個誉の土産物店舗の屋上に設置する、同看板は縦四、五五 が約三十尺となり頂上に五百 が約三十尺となり頂上に五百 が約三十尺となり頂上に五百 があら舞前に美觀を呈する

創立總會開催

各重役も既に決定

事務取締役 千

一等地二平方米一ヶ年十二銭 三等地二平方米一ヶ年十二銭といふ 上月一銭でありこれを坪に換 算すると一等地一坪一ヶ月約 三銭であるから鮮内各都市の 坪二十銭、三十銭と比較して 鑑かに低廉である

近く發表

【 岡門関通 】 滿鍛岡門鄭事處 の見込みである

圖們借地料

満鐵辨事處より

満洲國公債 應募額六倍に達す

日宝十二月七年九和昭

佐田 星 漢 原源三雄 世 異 正 典 三 雄 世 典 三 雄 世 典 三 雄 世 典 三 雄 世 典 三 雄 世 典 三 雄 世 典 三 雄 世 典 三 雄 世 典 三 雄 世 東 正 典 三 雄

と午後三時散會した、新他出席、滞りなく議事を他出席、滞りなく議事を 他出席、滞りなく議事を

技術顧問 役

場合會は二十三日午後一時 聯合會は二十三日午後一時 前に幹部會をなしたが政府當 局への考慮から臨時議會召集

鈔

三、一人四、九九五月〇四三、一人四、九九五月〇四

五二八10八十三圓五

立經緯

銀行狀態 六月末新京組合

1、CYれ、七九間XO

界に頗る注目されるところ

右に就き

世良審查役

預金は減少

(大連関通)昭和二年佐藤博士の愛明になる大豆油鞍出し土の愛明になる大豆油鞍出し土の愛明になる大豆油鞍出し土の愛明になる大豆油鞍出し

常務取締役

聯合會

代表大會開催

られてゐる

養蠶業組合

流入緩和も影響してゐるとみわけでそれに多少内地資金の

取扱 青岡郵局貯金

南岡郵局は七月二十三日附公 市岡郵局は七月二十三日附公 市された

只茂盛の間に表記 特 で なって 当って とって とって とって とって とって あるが、 が、彼女にはあつる

全滿水害 【東京國通】過數日本で募集中の福州帝國公債は既に應募 額六倍に達し二十三日等は十 銭、二十銭のプレミアム付で で日本資本の満洲移入は注自 されてゐる

四十二萬晌に達す 政府救濟對策に腐心 被

特別市に於ける

目下判明せる 罷業による 田 て、否しみ始めた



水)

团

- 時から地方事務所で幹事が打合せのため二十五日午 ンどひを開くことになりこ

イロン鳥民

『明治大帝を偲び奉る朝』

は顧問に就任した

イコットせよと叫んでゐる

日

興を闘ると、もに大帝の御聖 盟では恒例により國民精神作 田に相當するので断京教化聯

河滿鐵理事

顧問に就任

等に對し政府當局では種々對 等に對し政府當局では種々對 完全等完しつ」あるが廿三日 完全等完しつ」あるが廿三日 完全等完しつ」あるが廿三日 完全等完した、右報告に基定。 表際水管報告に基定對策會議 を關催した、右報告に依れば 等一、告杯、黑龍江、熟河四

日

【大連國通】二十三日創立總 會を開き弦に處々本工業とし で滿洲大豆工業株式會社は昭和 二年四月以來佐藤正典博士の 研究に續いて昭和五年より一 歩を進めて一日原料百順、年 三萬順の企業研究に入り其の 工業成寡價値認められた結果 弦に滿織の半敷持株、他を日 本食料。鈴木商店、三井、三

研究が始まつて以來八年間 自分は之が研究に努力して 中本たが、今後同工業界の生 命を扼する重大使命を持つ て居り、會社としても充分 に関に之が發展に邁進ずる 事は勿論である、今後も大

六月末の新京日本側組合銀行 の通りでこのうち五月末に比 の質出の三十萬七千百六十九 側五十三銭のみでその他は何 れも減少である、これは建築が が最盛期に入つたため預金を 引出す一方において資金の貸

(H

独定で、製品は直接販賣とし 大び機械處置特許権を無償に たび機械處置特許権を無償に て行使し大豆工業界の一大革 で行使し大豆工業界の一大革

英、繭に暫定協定 日東宮殿通 二十三日外務省 に達した情報に依れば本年四月以来貿易割當問題に関し英 になれば本年四月以来貿易割當問題に関し英

通商條約締結迄八月以降英國

け得る旨の暫定的強商條約の 英國より從前通りの待遇を受 全部を許可され、オランダは

路る折柄とて注目されてある。 英 隙間に於る右暫定 で が タピアに於て開催されつ で が タピアに於て開催されつ

たが遂に意見一致セデ、正式とが遂に意見一致セデ、正式

**独告を以て破棄し得るものでた。右暫定取極めは三ヶ月の** 

で、東京國通)米國太平洋沿岸 各港の埠頭人夫組合の開築は で、埠頭人夫龍楽に依り本邦 で、埠頭人夫龍楽に依り本邦 が、埠頭人夫龍楽に依り本邦 が、埠頭人夫龍楽に依り本邦 が、埠頭人夫龍楽に依り本邦 を直接損害は實に二百萬圓以 上に鎌するであららと観られ

四

H

本品の

一、資源豐富にして原料低廉一、資源豐富にして原料低廉

等である 等である

安東市附

安東の經濟事情

密輸取締は好成績

二、陽稅關係無きこと 三、等銀低廉なること 四、生産品の需要地近きこと 五、資本の課稅無きこと

多くは固定資本となり、實際 多くは固定資本となり、實際 多くは固定資本となり、實際

安東市 附屬地 二五、三八〇 関放地 (安東部市街 四八七 関放地 (安東部市街を除く) 一、七四八 一、七四八 一、七四八 一、七四八 一、七四八 一、七四八

補陸軍士官學校幹事 上官學校幹事 上官學校幹事

英

安東は鴨株江を以て日浦南安東は鴨株江を以て有名であり、殊に事變後この風潮を激成するに至つたが、近来附屬地野野と一番側との融和成り順者の聯絡との風潮を激成するに至いたが、近来附屬地野野と

安東の産業は木材、作製及 安東を作つたものなるも、その数展性は必ずしも期待されないこと、而して其の一大原 因として交通機關の不備が暴 げられる事は前述の知くであるが最近は當地にエウ菜、鎌 工業、騰造等種々致展の氣運 に向つてゐる、今工業地として現在の安東を日本内地と比

ちあり、

不利な點としては即

少額と認められる

唯してゐる額は甚だ

、資本の金利高く且つ不足

も見るべき奥地満人々口は推 り、又日本商品消費の動照と り、又日本商品消費の動照と り、又日本商品消費の動照と

一 米 図 の 計 書

「ニューヨー・二十二日 録版 は 都々 雅烈を 復少 を 教人 的 敬敬 は 都々 雅烈を 復少 と 教人 的 敬敬 は 都々 雅烈を 復少 と 教人 的 の は 全 調 を 和 ご こ 八 十 元 名 十 九 日 以 来 図 日 間 に 死 光 一 二 日 以 来 図 日 間 に 死 光 一 二 日 以 来 図 日 間 の 死 亡 ぬ 計 は

空の姿であった。そししかし、あまりに

他率的経営至業なること 要とする気め、検活を失り

壓

月一日より製品賣出しを見る無顧の原料消化能力を有し八個顧に依り成立を見たが、新個融に依今成立を見たが、新趣調に放って、

業組合會課席上日本品を敷迎 一十三日セイロン島護員は商 二十三日セイロン島議員は商

新株第二回拂込みは新規事 第三回拂込みの資金となる 第三回拂込みの資金となる がまるいかでありとは同時に でありたは同時に

日本品歡迎

二割五分据置

た。田社長は左の如く演説を爲

\*\*これがあるん ( ) と なが、やがて、その味 と。席代に数へられてくなつて行くばかりだくなつて行くばかりだ 後配は、最 態ると、 らかさが宿つてゐた。

(東京國通) 陸軍定期與動追

追加陸軍定期異動

くなの。就を呼び戻さらと

なかった。失はれて 市子の壁を、しつかりと抱きかかへてゐる他一の双眼から、**例**が

千原大尉は、市子の最後の言語のやうに落ちるのであった。 大尉は、市子の最後の言葉

その聲が人々の 腐を、かきむしして、必死となつて呼つらける。 らなよさよ女處

育くたいよひ始めた。しかし何のたが、 かに、酸い信仰を示すやうな、 すやうな、安

十三日より 特別廣告

マツサ 淺草療院 管話四七九六書

あらゆる点に於て新京一を標榜してカフェ

あんま





ヱフカ

番六七七三話電●目丁四町野吉京新

( ) 」

友

料 級 揭

(二百三十七)

おいて苦味を始めたなな、寒に刺来

み見えてわた形子は

のか、一般の観察が

しわたのであつて

簡易宿泊所

妖

麗

0

亂

ts

大

木

ı

本

格

的

15

味

下宿鄉繼續

備

(可能便警理三第)

## 得に充分なも

が不承認の場合完全に決裂 一大使の回答注

提示した北鐵鹽渡に闘する所間廣田折夏案は外づ満洲國側に入した北鐵鹽渡に闘する所で之をツ聯側に示したものでで之をツ聯側に示したものでで力を以下をしては兩者が承認して居る、ソ聯に於て 提示した北鐵鹽渡に關する所三日駐ソ大使ユレニエフ氏に「東京園通」廣田外相が二十 國防安全感確保 公正妥當なる主張 

相手として認める事となり、 日本 演、ソ三國の外交關係上 大工ポックを作る事となり は大橋外沿部次長は直ちに瞬 は大橋外沿部次長は直ちに瞬 は大橋外沿部次長は直ちに瞬 は極めて重大視される所以で

日五十二月七年九和昭

であるである

相ペタン元帥は廿二日サン、 來るべき世界 戦争を警告

将の間に對し口が

鰻スツポ ボ

料

【承徳國通】歳民政部大臣を 機裁に敷く社會事業聯合會は 既に未天、吉林、黒龍江三省 及ひ新京、哈爾賓に夫々地方 社會事業報合會を組織し各方 籌備委員會開催

部様の必要を强調し左の如く ・
なの席上第二の世界大殿に備 ・
ての席上第二の世界大殿に備 ・
での席上第二の世界大殿に備 は陸軍の第一線に立ち機先として起るであらう、諸君として起るであらう、諸君

經濟外交で 平和工作に 盡力

て東京園通 ルーズヴェルト大統領顧問ロジヤース教授は 午前十一時官邸に藤井厳相を 訪問し、日米同園經濟関係に 忌憚なき意見を交換、正午辭 去したが同氏は廿六日退京支 赤をしたが同氏は廿六日退京支 赤をしたが同氏は廿六日退京支 が発由酵米する、尚廿三日藤 が発出酵米する、尚廿三日藤 ロ教授、藏相文書で 刑等利害に努め 一、國際關係 日米交易關 米二國は經

辞せねばならない、一度職 大職の初期に於て敵軍を粉 を制する果敢な殿闘により

全國民を訓練せねばならぬ 抱き込まれるであらう從つ 抱き込まれるであらう從つ 争が起れば擧國その渦中に

のる間の関係に基

係機妙な今日、 関係は今後も改善者の對立を見ない 経濟関係を消じてお復刻な今日、日

見間漢い故明白な答へは出し、支那の政治經濟事情へはくものである

業聯合會

熱河

社會事

駐日スイス公使

**會見に於ける** 

相の間に對しロジヤース氏の【東京國通】右舎見で藤井蔵 ロ氏の應答 **澁澤氏設**電に スイス公使後 【東京國班】 一氏と決定したと 後任はウォールタ

九日省公署に於て繋河省社會のつつあつたが今風鸚河省にも 事薬聯合會籌備委員會を開催

委員會解散の は八月二十日

受信裝置 ラヂオの自動

ければ受信出来ず不時の放送す受信機がスイッチを入れなま受信機がスイッチを入れない。大阪関通】大阪市の日本電

意道樂とどろき な三九三六書 蒲ン

120

か

おらが満洲は よいところおらが満洲は よいところ

朗

滿

歌

はやし、洋楽器鳴り

11

왕 홍충

V)

踊

洲

そ 0

·萬圓見當

支均衡方策决

けでもいゝ時分 

ではないのに氣附いたらしい樂職視さる、建國當初の滿洲

本の大を偲ぶ本の大を偲ぶ 

地災厄の年地災厄の年

意気と力に 伸びゆく残野 関の養庫は どこまでひらく 地質大連 あの賑やかさ ホソニ キンニサ

CENTED IN

世紀定積立金

经積立金

否の岐路に立 北 鐵交涉

(=)

赤字公債發行

は

日本外務省の對軍縮方針

國民負擔の輕減をなし得るも世界平和へ貢獻すると同時に権力と関原協定で實現するは時界平和へ貢獻すると同時には東京國通】外務高層では軍

のと考へ國防安全感を確保す

に町田商相は綜合的産業政策【東京國通】二十四日の閣議

綜合產業政策案內容

一、肥料統制

商相、提出

居るがその大綱は

東採用を機に

各種産業の生産機関と販

農林、商工業金融機關の連絡

長級大異動地方長官部

て整理を開始せば我國も誠意 で整理を開始せば我國も誠意 と以て應理を開始せば我國も誠意 を以て應理を開始せば我國も誠意 を以て應理を開始せば我國も誠意 を以て應ずる方針で、公式申

田を持つてある、我國として は外債と言つても外債全部の のた整理方法による協定を要 が、防道だ

排撃する方針で成行きを監視 に認めず又掛撃だけで日支腿 に変と右せんとする不臓窟を

膝を交

岡村副長

等四氏會商

ける正

午迄には終了の豫定

してゐる

**客棚産業組合圏体と商工** 

に對しては中央、地方共に不

誠意あらば

誠意を以て應ぜん

支那政府の外債整理説に

日本政府成行監視

五千萬圓見當に制限すること が妥當なりとして、その方針 を押し進める事となつたが、 大概省音腦部では更にその具 大藏省の

保各局に命じて各國に於ける 赤字克服に関する實情調査を 大破省首脳部は十年度豫算 で大酸省首脳部は十年度豫算 億圓程度に赤

小松原大佐 關東軍の名で抗議 段せんとする古 亦字公債(端洲事 方針の様である

事件

松原ハルビン特務機能長は闕 氏を通じソ聯政府に口頭をも日本軍將が保好事件に関し小 時半ソ聯總領事スラウツキー【ハルビン瞬通】タス通信の 東軍の名に於て廿三日午後一

||タス通信の侮辱

等の場合は開送しがある事を では、原理は極く微弱の放会 でもでは、これに依 をと、に関じて電 をを発し、これに依 をと、これに依 を、これに依 を、で、これに依 を、で、これに依 を、で、これに依 を、これになる。 で、これになる。 で、これになる。

と間ひたい 景氣がいムのにまたどうして 野気がいんのにまたどうして

來

▲ 蜂谷總領事〈奉天から日午前六時壽奉天から日午前六時壽奉天から十四日午前六時壽奉天から十四日午前八時三十分酸哈市公司十四日午前八時三十分酸哈市經由ロ中前八時三十分酸哈市經由ロ中前八時三十分酸哈市經由ロ中前八時三十分酸小ら同日午前八時三十分酸小ら同日午前八時三十分酸小方同日午前八時三十分酸小方同日午前八時三十分酸小方同日午前八時三十分酸小方同日午前八時三十分酸小方同日午前八時三十分酸小方同日午前八時三十分酸小方同日午前八時三十分酸

一金一千四百獨也 持込準備被立金一金一千四百獨也 社員退權給與茲金一部 內國也 社員實典金 一金八百獨也 社員實典金 一金四千一百十圓十九銭也 使料線越速 一金七百團也

4

图

決意を有す

を官の管明は即ち英國としては滿洲國を承認して居ないので滿洲國を承認して居ないので滿洲國を支那との條約正であるとし支那との條約正であるとし支那との條約正であるとし支那との條約正であるとし支那との條約正

一例としては七月廿五日午

新学たる態度に出る央書を は賞方は既定の方針に基さ は賞方は既定の方針に基さ

塘沽協定廢棄など

以ての

外だ

國府內部紛糾

來連した關東軍某

儀我山海關特務機關長談

のため上京(新京)中であつれたいとが、とが當の関係者である後

と思はれる。そこで満洲國 である。 であるりと解釋した未 であるう に基き満洲國内に於ける演

國境を認

めず

英外務當局見解發表

たが、二十三日朝歸嗣、大ののため上京(新京)中であつ

従来職々國境附近でフラ

との國際問題並に英國駐屯する必要がある譯で、英國との國際關係を明確に展別

斷

海關國境演習問題

を寄せて来た、右英國軍司き通告に應じ得ないと回答は義和國事件の議定書に基

れば自然各國駐屯軍の問題 も同時に解決すると云ふ結 も同時に解決すると云ふ結 を関としては問題の紛糾を恐

海東山海岸寄り大石河口以 の資理射撃演習も通告以前 の資理地とは全然異つた南

では、 では、 の屋ヶ浦に敷設を遂げた個村 佐、殷同の各委員は二十四日 佐、殷同の各委員は二十四日 一時十五分星の家に集合 に、 の屋ヶ浦に敷設を遂げた個村 を、 の屋ヶ浦に敷設を遂げた個村 の屋ヶ浦に敷設を遂げた個村

百

H

学、七月二十日に至り養和國 果、七月二十日に至り養和國 果、七月二十日に至り養和國 、本件の議定書に基さ、右以版 に出一日午前菱刈大將より が務省に達し外務常局談に於

で持つた事質がある。こう 満州國警備機関を以つて追

が、之は各駐屯軍が英國に特の回答には接して居ない。

外務省営局は目下本問題を 外務省営局は目下本問題を 製を景態せず、從つて満洲 関を頻能がして居ないので 関連は概るデリケートであ るが外務省局の使相調査完

力要人は右に就き左の如く転

が傾りに流布されてゐる折柄牧問題等に職して大連會職記

連絡問題、我軍の長城以北無

+

Ξ

【山海陽國通】山海陽特務機 は事前に通知されたしとの申 は事前に通知されたしとの申 は事前に通知されたしとの申 は事前に通知されたしとの申 は事前に通知されたしとの申

昭和九年六月一

以下各要人に招電を設した、高額を開き國家の諸軍必案對策に成本月初の腫山に要人會に対する事となり正精衛氏とは、大田の政策を開き國家の諸軍必案對策に 要人會議召集 は何れも来述中に廬山に赴く は何れも来述中に廬山に赴く

の機定である。 無根の担洗機師の肥事を否認ってガス強信の経済せられた

時新京被率天へ 時新京被率天へ

一、 装肥事の 取消し 一、 業間の 機關代表者の遺憾 の意の表明 一、 常面の機關代表者の遺憾 一、 常面の 責任者の 臨間 一、 常面の 責任者の 臨間 の 三條件を 軽重要求した、 これに對し スラウッキー氏は 該問題の 撤大を恐れ何等 回答を 興へなかつたが、 此の點より見て タス 通信の デマを 肯定せる も同然であるが、 スラウッ るも同然であるが、 スラウッ 映意を爲するのと顔られる 闘東軍は日本軍の威信上重大 官と落合ひ、股间北字鐵路局官と落合ひ、股间北字鐵路局存力要人と蔣介石及黄氏の指令內令を受けて來適した股局長は果して職の如き非武裝地域を中心に塘沽協定にまで觸れるであらうか否か異常な緊張の中に今や全市の注目は星ヶ浦に注がれてゐる 【龍井國通】去る十七日午得 清洲國軍に 撃退さる

本

H

なる

素晴し

大傑作

東三十一名は兵共則混合部隊 将百名〈經經一整携帶〉に襲 整せられ直ちに交融二時間に してこれを撃退したが、この 機関に於て我方は重傷一、經 機関に於て我方は重傷一、經 機同に於て我方は重傷一、經 機同に於て我方は重傷一、經 中の匪輿と遭遇、これに攻撃 中の匪輿と遭遇、これに攻撃 中の匪輿と遭遇、これに攻撃 を加へて潰走せしめた、この 最際に於て敵の遺棄せる場体 は二個、負傷十数名、長統一 を加へて潰走せしめた。この 大い手榴彈一ヶ、統劍二ケ、彈 数薬十酸其他多数を押收し

形勢。もうそろ々々ケリをつ 北織交渉なんとなく有場化の B 海外 (2000年) (

五三一古九七現

11

0

お

するは吉林 ゑにしをむすぶ ホンニ ホンニサ

二十九八七現 十九八現 九八現 二十九八七袋 月月月月月 月月月 月月月月月月 限股限限級物面限股物面限股物面限股份面 高 文 新京市况

况

3

●上海日本向 111点1至 111点2至 111点2至 111点2至 111点2000 第廿九回决算課

6.

本に ヨイヨイ

h

大和ごころを 血糖に築 高代輝く 夕陽の光り ホンニ ホンニサ よいところ

ニセルホへ 公香

他は送局の模様

廿五日迄對峙の狀態

協和會公金費消事件

は

日

つがき新山

下車して大連行き中止、なほ子に乗れた本人はやむを得ず方に暮れた本人はやむを得ず

形式一些

ので自然競生的な事識と看做 ので自然競生的な事識と看做

滿洲醫大教授醫學博士

|聴取||な背景もなく

科大學第二回熱河地方病研一承德國通】關東軍後接滿洲

第二回熱河地方病研究團來承

に決した債様である

技 術 員

の減入中色白肥大一見紳士風

移り安居樂業の新京を震愕さ を叫んで敢然一致結束罷業に を叫んで敢然一致結束罷業に

央通四十八番地印刷業世界堂せた事件が勃發した、新京中

從業員側提出

待遇攺善要求內容

に宿泊し繋河地方病甲狀線のの一行は十九日來承衞戍病院

九和昭 一行事 展飛行機百数十

訪問飛行を行ひ一 へ訪問飛行を行ふほか艦路

の他同艦隊軍樂隊三十五名よりなるブラスパンドは該期間中新京、率天に演奏旅行を行ったととなつて居り一方各地のにおいて軍事講話、海軍に開 八月二日旅順入港

であります。 での第三艦隊は来る八月二日 がの第三艦隊は来る八月二日 は八月十二日より十六日まで は八月十二日より十六日まで は八月十二日より十六日まで

艦上機翼を連れ慶祝飛行 流管作業を観覚に供する、そ 並に関東州官憲及ひ一般旨民 の便楽を許可し艦上における 艦上参觀も許さる る映畵公開の各種催しを開

二十四日午後三時二十五分北 流で活躍した〇〇〇〇〇の遺骨 二体ハルビンより着京、同日 午後四時半南行の豫定である なほ世七日午前十一時三十分 なほ世七日午前十一時三十分

日滿婦人同志會では二十四日

協議する

けふ遺骨二体

選、年中行事の决定、査金捻目網要の普及撤底、役員の政

教化聯盟幹事會

数化聯盟では同聯盟の主

出方法などの協議のため来月

又は音樂、映畫、 傷病兵還る

内東大橋附近警戒出動中上流 下嘉市警士宗青玉吳亞臣は管 下嘉市警士宗青玉吳亞臣は管 撃するや直に附近に緊留中の助を求め漂流し來る三名を目 より門板及流木に縋り泣叫教

して表彰するに足るとて

犠牲的行爲は警察官の龜鑑との刺戟を與へた之の果敢なる する三名を救助し得た奇特な三名協力辛ふじて溺死せむと 行爲に對しては各方面に異常

(現のパーがないのは誰しも氣) カフエー時代の新京に高級な

小舟にて救助に赴き木下警長 總監より

界堂從業員 付遇改善を要求罷業 給料は臭れず忙しいと言つ 動りです、けれど仕事のな 通りです、けれど仕事のな 夜の十時十一時迄使つ

時になつても浮ば つて昇給の渇みは

するのみです で我々の生活機嫌護 であれ、こうなれば 股容手蓋中であるが生命危篤 の死体を遺棄して潰走したが の死体を遺棄して潰走したが の死体を遺棄して潰走したが の死体を遺棄して潰走したが の死体を遺棄して潰走したが を関いたので、直

満人三人組 ルビン國通し廿三日午前 拳銃强盗

引揚後も國立病院長工羅博士・アティーを敷十匹持分し一行ので今回は試験用兎、ラ 人陽盗侵入し家人を青迫金品 方に拳銃を所持する三人組織 方に拳銃を所持する三人組織 滿官憲協力して犯人を搜案中

の の で あるが甲状線肥大 で あるが甲状線肥大 で あるが甲状線肥大 で あるが甲状線肥大 稀代の殺人强盗

大チ

射殺さる

行十名は二十一日來 のであるが凌源、平 のであるが凌源、平 のであるが凌源、平 のに於ても現在罹病過 が相當ある機様で が相當ある機様で 全身に浴ひて街上に倒れ最期 を身に浴ひて街上に倒れ最期 を身に浴びて街上に倒れ最期

【ホノルル廿二日 登園通】へ りイ遠征の明大野球テームは 三日「龍田丸」で瞬間の途に 三日「龍田丸」で瞬間の途に 日米水上對抗競技の米選手三 名も乗つてゐる 廿三日ハワイ發

きのふ死去

「東京國通」大蔵省疑獄事件 情強に快腕を振つた無田前主 三月午後五時選に死去した

大水害の京釜線は

復舊の見

込み全然たっず

二一十四日午前九時新京發第十二列車で大連に向ふ一滿人が一二列車で大連に向ふ一滿人が再に席をとり支那服上衣を窓廊にかけ置き發車を待つてゐ

人命救助の警長

ス針を協譲した、一方店主藤本氏は支配人村上啓助氏と鳩

特別賞與

・ ・ ・ 食事の改良 ・ 食事の改良

發車間際 に

で極力捜査を續けてゐるがい。 
遊離事件につき新京署司法係 
の手提金庫在中現金四百圓

罷業に入り威廉をあげつゝけ、刎ねつけられたので即 ちに永樂町畠山重雄氏方に

剽

の提出した要求書は十項目刷長室田辰二氏以下四十六

双方の言分

巻を要求してゐるが大要大のに亘つて給與の珊額待遇の改

右につき廿三日夜世

給料の平均二期引上げ

書を店主藤本茂人氏に突きつき待遇改善、給風骨額の要求を待遇改善、給風骨額の要求の従薬員四十六名は廿三日午

其他諸鐵續々不通 八戸、田畑浸水一萬四千町歩行方不明八名、家屋倒壊二八行方不明八名、家屋倒壊二八 格船は杜絶した 務船は杜絶した のため閥念連 朝鮮海峽 關釜連絡缺航 **査滅である** ですいコードの狂騰で聞えないから全白馬の惠美子、機大いから▲白馬の惠美子、機大ののカフェーなどといつたら叱 トリオの京子なかなか元氣で す意氣地ない男なんか顔負け します 本淡いノスタルデーに か新京が一番好きよ」内地で 彼女とスキート、ホームを持 ちたいなどと思ふ男は早くあ ちたいなどと思ふ男は早くあ うにも優しすぎる女性、新京 それでゐて何もかも知り書

客荷とも取扱のを中止した 通の見込立たず、同方面行き

方職工側の事第長畠山頂雄

蒙古に飛行機

十六日頃復奮か 京釜線銀浦勿禁間不通個所は 二十六日ごろ復舊の見込みで それまで現場は到底徒步渡船 旅客、荷取扱ひ中止、なほ湖 から不通となつた

乘合自

を贈る

人蒙中の

カラ

外務委員長

南鮮の水害

被害三千萬圓

時山飛行機場 「京城園通」木書の為「時使用禁止となってみた前山飛行 相禁止となってみた前山飛行 場は二十三日禁止解除となり

振することとなってゐる。 榮 猪 幔 股、 原兩警部

十時ごろ自室で物 日十番地電・自社 日十番地電・自社

署長に同暑原警部は拡順署動像事々務収扱猪股警部は赤峰 務にそれぞれ英轉した 「豪北十三日級國通」 高尾州は倒壊家屋一手に及び 死者、行方不明者多数に及ぶ 見込みである

北陸線漸く開通北陸線は十二

木香青白

田

商

電話二九三三番

十二日満城河院第一日二番地岩崎ミネーリ目二番地岩崎ミネーリー戦齢村竹田宅甲ノー戦齢村竹竹田宅甲ノー戦齢村竹竹田でも上上

日目に漸く復復した

**導官重傷危篤** 鎌田級賓縣指 仁科院長

賊と遭遇

ハル國通】廿三日當地 明朝赴任 新京分院長挨拶

近

日

・ では、 、 では、

突如世餘名の順賊、(匪首不等官鎌川皆氏は部下数名を率あて同縣第五區の警戒巡邏中 会国大石橋警院長に榮職後任 会国大石橋警院長に榮職後任 には久保良則氏が着任廿四日 二十五日朝鳩で赴任す

(金) 日七 (土) 日八 (日) 日九 日催開 延順天雨 馬賽二三二 京話 番 三 部 大和魂高唱劇

七月廿五日 仁 原 成 旅 主なる藝題 召世 精 0 令 四 令





六四リ通

皆樣の御後援を得まして 皆様へ御満足を與へる事でせら 大衆歡樂境として…… 兩日内に開店致します 開 店 五十自丁二町士富

雄一篇に合併長春座輪づて以來の楽晴しに動進元に於きましては不斷の御引立御 非常時間に直面せる全日本民族に捧ぐ の来晴しい豪華な競演陣にて御目見得致す事になる郷引立御禮の意味を以つて廿五日より三日間開演致す事行致すべき筈の漫識王立花屋幸丸一行の公開不能に 事になりました。

嵗

萬

歲 王

行同時競演

星の家

合 天本 ty 破額料金 関類料金 上演物豐富につまた 上演物豐富につまた。 一特子軍人 企業等等 供生席等等

江戸ツ

漫歲王立花家

新聞演奏、電響、元素あるようしました人採用奮闘の青年日本人採用

臺灣南部も

大暴風雨

詳無而談

新京與安大路四一四

南新京日

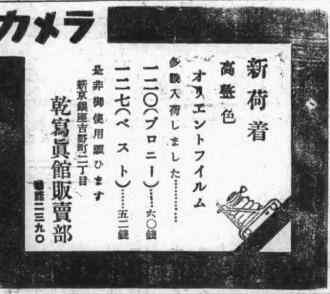
ら英國大第と云ふ模様であっから見解を表明した。 と聞られる一任旨である関係上共即及一當局は二十三日非公式に左の と聞られる

福信幾會社一二二二

京日 支聞 世界参楽表あれ 局社 夏 0

平衿、帶メ、帶摄、小間物具 電話三〇九二番

**0=0=0** かじ) 貨 部 海旅行者及一般の御便宜を計る為左配取扱を致しますから御利用願ひます
一、同到着驛留小荷物代理引取及配達
一、同到着驛留小荷物代理引取及配達
一、同到着驛留小荷物代理引取及配達
一、同到着驛留小荷物代理引取及配達 



随時住参の器に駆す 治療受付 小內 兒 科科 正午より午後三時まで 杏林堂醫院 電話二五三〇番 電話二五三〇番

長春鐵工所 新京東三條通 十番地

内外線電氣互事並二動力据付 各種電燈取付互事請員 滿州國電氣指定商會與東軍電氣指定商會 昭公司電氣部 和京中央通り十三番地

。野

電話三四一〇沓

粗末なきサービス振り 常に好評を戴ひて居ります!!

間療 往宅 診診 但少急患八此人限リニアラス午後二時ョリ

時診

段四

門專科児小

◆ 皮 膚 病 科 ◆ 皮 膚 病 科 小兒科 小兒科 日曜。祭日如一年後休於商業學校正門前 新京八島 
迎老松町・メイヤ街)

筈元醫院 

「入院隨意」

飛行は一・

電話

市場內日華洋行へ

貨の御用命は!!

食料品と



事文月

陳室家

列內具

設裝建

設計製作

游 房 和 解 品 具 誌

新京吉町銀座街

₹<u>"</u> J

電話 | 三二十番 書店

所題しを助理えたり、度忘 とが気にかり

111

行友李風階作

八。

云 大阪商船出机 门司、种戶(大阪行)

皮キュカズム

十二月七

年九和昭

内民政部總務司長詮衡依賴

の増員

は

大谷刑務所に强制收容された。 大谷刑務所に强制收容された。 大谷刑務所に强制收容された。 大谷刑務所に强制收容された。 大阪市、事實態々動かし難くなったので小原法相は瞬田首出 が來る二十八日關西旅行より 開より上突御裁のの手續さを とつて正式起訴を見るに至る とつて正式起訴を見るに至る。

理想選舉斷行て

年會ご絕緣

國通」後藤八

自

は大連関連 第三艦隊旗艦出 で 選以下第二十六扇巡験柿、楹 の 要、 様、第二十六扇巡験柿、楹 の 要、 様、第二十七扇派隊変 要、 様、第二十七扇派隊変 要、 様、第二十七扇派隊変

清州の邦人進出に支障・宋すわけで、おそらくたとへ一時 的: もせよ汚名を潜せられた 人は間分多いと思ひます、宜 しく歳を啓かれんことを紙上

で床辺

吉川商會 中元化町七 が甲板

第三艦隊

抗議!

なに

近く大連入港

質に嫌な氣が

を場立したもので、現在満洲 に活躍してみる者は知論、特 に活躍してみる者は知論、特 に活躍してみる者は知論、特 しました。こ 澤山あるこ を聯想する

引機き 軍備機元 領軍は軍備機元に寧日なき有 領軍は軍備機元に寧日なき有 が、大力を持すると称せ は、大力を持ちると称せ は、大力を持ちるとが、大力を は、大力を は と は 大力を は は た力を は も は た力を は も は た力を と き兵舎が峻成した

に昨年来登襲中であった二 五〇〇名ン 五〇〇名ン 一棟の収容力一〇〇〇名の兵舎

=

非

茶

量

製

國

日

東

紅

市内各食料雑貨店に

あ

は役ねて首相の意を事け かし難 流渦巻き二萬數千名の住民の人部分は避難させたが被事財態に調査不能の為詳細は判明にないが廿三日午後九時迄に到明の分は死。廿九名、食用明の分は死。廿九名、食水家屋一千六百八十三月、浸水家屋一千六百八十三月、浸水家屋一千六百八十三月、浸水家屋一千六百八十三月、浸水家屋一番を襲つた豪雨は两淮につかあり、現在全羅所、北しつかあり、現在全羅所、北

中島前商

收賄は動

青汎年米 米佛教 大會

臣の意見を徴し起草中であったが成案を得たので二十四日の閣議に於て岡田首相より之を説明各閣僚の諒解を求め同日午後各官廳に對して之を通牒該達し同時に一般に發表したがその骨子は左の如したがその骨子は左の如したがその骨子は左の如したがその骨子は左の如したがその骨子は左の如したがその骨子は左の如したがその骨子は左の如したがその骨子は左の如して姿感を 生ずる事なきやう充分なる れあり事務に澁滯なき様一官紀やよもずれば弛緩の懼 引分保障制度の實施以来 東京より料越しの大回開催地東京より料越しの大回開催地域開催を主張して譲らず、澄に決定を見ず向ふ一ヶ年間にに決定を見ず向ふ一ヶ年間に決定を見ず向ふ一ヶ年間に以びることとなり大いで日本南國合同宣言を朗護、盛大 日に頁つて開催、二十三日は年大會は二十二、二十三の原 盛大裡に閉會

赤

工場南嶺五里堡東坂下會社 南嶺 繁 公司

在

品品

豐

少に不拘御用命を乞ふ

御用の御方は電四七六八番

伊海軍豫備交涉

招請受諾

合的精神によりこれが反省如っ行動に對して佛教の和に鑑み國際的親善を妨ぐる

を促がさん事を期す の幸福及ひ文化の完成のたの幸福及ひ文化の完成のたの幸福及ひ文化の完成のた

四 た 1 つて新京都の た 2 つて新京都の を 2 つで 1 等待合室がルンペンの 教容所にかはつ かか 2 では 笑はれぬ 社會悲話である ▼ 計るとき誰しも不愉快を感ず。

科營目業 =0=

代辯及保證 六五四 委勞 **建**話(呼出)三七人五番 新玻璃院裏 通二 筋 目 新豆叶町三丁目廿番地 託力 贩請 切業務賣負

アデノイド扁桃腺疾患、蓄特ニ難聽耳鳴症(耳硬化) **静膿症、應需** 隆鼻術

血液檢查、血壓檢查、靜脈注射、降

鍋谷耳鼻

人院隨時

會株 社式 前各 新 項關係

當局でも何とか考へてゐるの二分に同情してやつてよい▼

支店

保所报告保保保保保理

一、軍刀中身調製部

三、白 五、刀 新京西公園前 劍 品 定

本軍需品 刀劍部

(-)

の様な最終を継げる者べでからも問題が超る度毎にこれらる問題が超る度毎にこれ

日附頭書の任命があつた
「日が現書の任命があつた」
とのかく變更され、七月廿一
にのがくを着の響幅司令 全滿軍區司令官 任命さる

Ξ 小野寺長治郎

游長學校幹事

佐は星ヶ浦の星の家に一夜を佐は星ヶ浦の星の家に一夜を明し廿四日午前七時半起床明し廿四日午前七時半起床明し廿四日午前七時半起床明し廿四日午前七時半起床明し廿四日午前七時半起床明し十五分に前もなくであれたヤマトホテルより使白の家ズボン、パナマ帽子とであれたヤマトホテルより検げられ、ペナマ帽子とであれたヤマトホテルより検げられ、ペナマ帽子とであれたヤマトホテルより検げられ、

小問題を協議

【大遠國通】支那側代表股崎 を下した様な前持ちで日本間 にくつろいで朝らかに語る 境沽協定改訂とかの問題に 地間しては一切觸れなかつた 唯職區内の極く些細な部分 的問題について實見を交換

會見を終つた岡村副長語る

| 懇親 | 薬副長、真多大

に一目に見下す開靜な一壁で 停戦協定地區内の

武田秀一

岡豐輔

仁六郎

の上にドッカとあぐらを組み ・産(西側)参謀副長北側、 ・産(西側)参謀副長北側、 ・産(西側)参謀副長北側、

型 小長い関連な倉職を終つたも 型 小長い関連な倉職を終つたも のである

には觸れず 塘沽協定改訂

殷同代表談

吹流しに衝突して

百下のところ殉職者は行方不 容すべく現場に急行したが、

報告要談を遂ぐ

その施設が第一である、

たと選手諸君のみの占有に委からした施設が出来た以上、

官紀の振粛を

【大連関通】八田副糠歳は二 十四日午後開東艦に変刈長官 その他を訪問上京中の諮問題 に就き報告並に要勝する歳あ

各官廳

に墜落

副總裁關東

裡に會議を終る

局新京に勝遠する事となつた 車で喜多大佐 岡田副官を帶 車で喜多大佐 岡田副官を帶 で喜多大佐 岡田副官を帶

【ホノルル二十二

一日發國通

赤松機

濁流渦卷く

近衛公、佐藤大使

IV

乍ら折柄の

やかな風景……廿三日夜十時家に於ける北文縣案交渉の和の人

で 議室に奏を隠す、會議室に元 と微笑をたゝへて星の家の玄

和氣あいり

- 一師剛長

荒蒔 義勝

北支懸案交涉風景

に於け

第一師問長 連

陸軍技術本所長 緒方勝一

て左の將官は待命仰付けられ「補第二軍管賦司令官妻の陸軍定期維級大異動に於」を軍上將「吉」「東京國通」來る八月一日設「補第一軍管賦司令官」 陸軍中將 張 文

將官中の待命者氏名 補第二軍管區司令官 獅

三百萬圓程度なる豫備金支出 「東京園通】山崎農相は夏秋 「東京園通」山崎農相は夏秋 「東京園通」山崎農相は夏秋 人異動

肾

桑補第四軍管區司令官

で、日孫經濟掛排の爲全面的類し議議運賃も從來涌りなの類し議議運賃も從來涌りなの「東京國通」日滿實業協可は 運賃引下げ 關稅と滿鐵 立案要求せん 日満實業協會が 经单上将 張 海 马

**法桑に御座乘** 高松宮殿下

せしめた結果、商工省は通商 は東京國通)町田商相は松本 四前商相以来の懸案たる貿易行長 を派遣、中栖前商局長と交渉

貿易の動内的部分外務省は動 をよなり、両省の分野は故に をいなり、両省の分野は故に

分野は 弦に

く復讐閉通し平常通り手小荷 あた坂凌線は二十三日午後漸 通】水害のため不通となつて

坂凌線復舊

【奉天則

物の収扱ひを開始した

查蒐集方 治水資料調 H

H

京

夏秋蠶對策は不充分

を斷つて政界浄化に

外務省は對

兩省の貿易行政分野確立

は對

マ (ローマ廿三日殺國通)イタッ・政府は廿三日殺國通)イタッ・政府は廿三日殺國通)イタッ・政院関するに決定した、海温東側季員ピスチア大佐は七月廿七日ロンドンの対策、豫備交渉の現狀につき検討を遂げる等である

と観測して居る

臨時議會の召集は必至か

農

及青年圏へも迷惑をかけるこ ・ 此の関係を選事の際に現 を角云はれるを避けんとし、 や角云はれるを避けんとし、 や角云はれるを避けんとし、 であるが、

聯合 (大連國通) 本日の開議で満 が、 見る警であるが、尚正副總裁 に耳 は 就務療人に伴ふ理事 増員を に取 が、一方主務當局に於ても多 に取 が、一方主務當局に於ても多 に取 が、一方主務當局に於ても多 で 場であると傳へられて居るの で 物員の質現は時期の開題と

理事増員説は中央當局の意

おくり主務當局の官僚系登用 に現れるか興味をもつて見られる、右に就き八田副總裁は 語る

橋か知らないが蔣鍵として は社業の擴大強展に鑑み増 員の要を述べ理事候補にも 社員人物を推してぬる實現 か否かは政府の肚一つであ

員理事登用が興味の

石喚 2 調べは免がれ難いものに進んで元関僚某氏も一鷹の

日本帝國海の鍵り聯合艦隊のもうどう八十五隻が來る九月中旬を関して彼、大に客港、特望の空中端州國訪問を営す旨は別項の如くであるが、同艦隊所屬最優扶業に大尉分隊長として御座乗の高松宮宣仁親王殿下には慶て右映會に於て國都新京を御訪問遊ばさるべしとは豫て右映會に於て國和新京を御訪問遊ばさるべしとは豫で右映會に於て國和新京を御訪問遊ばさるべしとは豫で右映會に於て國和新京を御訪問遊ばさるへもとは豫であるが、その後確問するに高松宮にひたつて居た所であるが、その後確問するに高松宮にひたつて居た所であるが、その後確問すると同様を関係のもうどう八十五隻が來る日本帝國海の鍵り聯合艦隊のもうどう八十五隻が來る日本帝國海の鍵り聯合隊と 満洲國訪問の御事ない

> (ワシントン廿三日愛園通) 無敵空軍 留局言明す

鶴設案については米國政府は陸軍省特別委員會の無敵卒軍

**竭かにその一半を管現する方** 

針らしく廿三日左の如く語つ 統領はワシントな知例に取扱か の事項を議會に 下しベーカー報 ン は ないが 米大 ないが 米大 告書の一部 した、近衛公は拓相就任設を 郷船龍田丸でホノルルに寄港 野船龍田丸でホノルルに寄港

などと云ふ噂があるらしい がそんな事はあり得以事だ がそんな事はあり得以事だ を語つた、又佐藤大使は歐洲 のみ局に就いて曰く で火がついた様な状態で軍 岡田内閣の拓相に就任す 3

として在來通り仕事を續けして依然北支政府の主權者して依然北支政府の主權者

「家天國通」今年の水害は全 高宗大國通」今年の水害は全 高宗大政を呈してあるが之れが 根本對策確立のため國道局に 於ては治水計副を樹て河川水 等の資料蒐集の爲め全彌各縣 に對し左計要領により調査を 一、增水減水の記錄 二、增水減水の記錄 二、增水減水の記錄 一、漫水主地面積 七、漫水土地面積 七、漫水土地面積 七、漫水土地面積 七、漫水土地面積 七、漫水土地面積 七、漫水土地面積 七、漫水土地面積 まづ以て考へなければならぬであるとゝもに、社會政策上であるとゝもに、社會政策上 項各戸を訪問し、健みを乞ふ 人をか とか理由づけて、近 人をか とか理由づけて、近

この方面に對する當局の取締 がどうも関却されがちのやう に思はれる▼何とかこの際被 等のために考へて、積極的に は就職を奔走するなり、さもな くば旅費を興へて内地に躊還 さすなり、満當かに し、來る二十九日そのコに誇る庭珠コートが漸く 輩が随分多くなつたことで、 出きを

※刀軍正改軍陸≫

央し岡田首相の名を以下の地の一次の一大政権の無いが、大政権の無対のを対し、政権は組織の使

が小降りとなり漸次酸水じつ

洛東江一帶

指定道路を

(=)

て新京署と打合せを終り になつた 一後は徹底を

立同様の取扱を受けてゐる合は規定を免れるためわざ一頭を後につけて一頭ものでも附屬地内に入る場 に限ること(従來二頭立の

安大路に連絡する道路)おっ、目下和泉町延長道路(興

日五十二月

赤衛部隊編成

+ 蚀

> 成後はすべて第三項の通行で職定につき、これが完了の職定につき、これが完任し興安大路は八月十日完任し興安大路は八月十日完 て開方経設地域に歪るこ て南方 経設地域に至ることりを過ぎ、城内永長路を經、大同殿場方面は東五條追

つき同路似完成まで一時的よび 興安 大路 は工 事中に 闘る

し運轉をなす、なは二十四日 二列車に第五十二列車は岡們 で第五十一列車となつて折返 時に到着の豫定年後四時着第五十二列車は定

静岡縣の水騒動

十二列車は岡們で待合せて

當局大童の活動開始

特に通遼方面來住者に注

れがため
新京午前

四

平

街

通

1

防疫に

【沼津國通】靜岡縣田方郡八

事務を開始す 恩賞處

に對しては細心の注意を排 で対し、管内の檢納的戶口調査を で表示の基準の型調査を で表示の場所的戶口調査を で表示の表示の表示。

當分處長は皆川 項

三)以下に負十餘名、大体の長、前財政部人事料長優井唐長、前財政部人事料長慶井唐 て事務を開始した、 務を開始した、因に同處 調査科は左の事項を掌る 制度の調査研究に関

·央市場設置

語つてゐる、問幕初日たる廿四日は主に招待者其他關係者の下見に過ぎず、契約高の強烈はつかないが昨年より好成想はつかないが昨年より好成だ。 行、尚日本海沿岸各縣代表者

(三) 電光(三) 電光(三) 電光(三) 電光(三) 三三

(二) 五類二〇錢 (三) 五類二〇錢 (三) 五類二〇錢 (三) 五類二〇錢 (三) 五類二〇錢 (三) 五國三〇錢 (一) 春男(陰子原田) (一) 春男(陰子原田) (一) 春男(陰子原田) (一) 春男(陰子原田)

一月頃竣工の豫定

職された、場内には日本各府 した大、縣及ひ臺灣よりの出 した大、縣及ひ臺灣よりの出

者の意気込みは大したもの

(二) (二) (二) (二) (二) (二) (二)

者の煮気込みは大したもので著しく活況を呈し、各生産業により同方面の對滿商取引はにより同方面の對滿商取引は

長春座の廻り舞台

一、勳位及勳章の敍賜に闘す總務科は左の事項を掌る 成に闘す に関する諮規定の審議に 恩賞に関する諮規定の審 闘する諸統計の作

恩賞處に左の二科を置く

の構成左の如し

**記章の授與、ち奪、沒收** 

五、外國の勘賞及記章の受領 五、外國の勘賞及記章の受領 及佩用許可に關する事項 及佩用許可に關する事項 禁止停止並に外國勘章傾用

海用水租合員三百餘名は用水 不足のは不穏の形勢を示して るたが、廿三日午前一時頃二 百餘名が鋤、飯、棍棒を持ち 出して神奈川縣會議員たる山 本貫一方を襲撃、家屋を破壊 のと観られる 

他科の所管に屬せざる事 氏が兼務 北海驛に下車せしめ、四平七海野に於て業客の遠診を爲したる際はしたる際は 上費五萬圓を投じ

及ひ勳記の没收に闘

**慣現の運ひとなり、今年十月** 場設置を計**輩してゐたが最近** 準百貨店式になる模様である 滿洲見本市

南生小學校内にて書 南生小學校内にて書 元時より泰天元時より泰天

除けに非難

然に走つた湯淺新取締役

(一) (単) 三関八〇銭 (本) (二) 三関八〇銭 (本) (単) 三関八〇銭 (単) 三関九〇銭 (単) 三関九〇銭 (単) 三関九〇銭 (単) 二分三六砂八〇 (単) 一八國四〇銭 (中) 一一関七〇銭 (十) 若葉(騎手高尾) 一一関七〇銭 (十) 若葉(騎手高尾) 一一関七〇銭 (十) 若葉(騎手西尾) 一一関七〇銭 (十) 一月四〇四八〇銭

性金を支拂はなくとも一側の 性金を支拂はなくとも一側の ないと主張し臨時總會で長春 座を棄取つた湯淺新代表取締 をか然に走り椅子席改築を命 じられてゐるにかこつけ、沿 線一を誇つてゐる劇場の廻り 舞台をとりのけ無價面のもの にせんとしたので早やくも全 にいたつたが問題の廻り舞台 にいたつたが問題の廻り舞台 にいたつたが問題の廻り舞台 が撃つて非難するについては取除きを許すことは出來

近

身

体

健

康

明

朗

0

お

數

名

下

さ 方

1

募

 $\bigcirc$ 

サ

ガ

日

鮮人師圏に命じ煙秋區域内に 原住する鮮人に對して部隊編 事集を開始すべしとの命を設 したので、目下鮮人將校四名

係下一尺ばかりの隙を生じて動

證状の出納保管に闘する

たいよく

~あと一 一面

小說

生命線をゆく」

は讀者各位絕證

のらち

愛讀せられた讀者各位に對して、に厚く御禮申上げます

作者及び挿畵畵家に對しその 勞を謝すると共によく

回を以つて大團圓を告ぐるに至りまし

**黒納保管に関する事** 

る事項

H

全満覇者を目ざ

撲部

資金の調達に着手

事當局の

水害のた

H

面を開放

運動會軟式庭球部ではこれを、つたが新京体育聯盟並に漸鐵

路つてある故これを新疆地 たい、就いては彼等の旅費 として應分の救援方を顕ふ と諸願中であつたが、上海方 の情報によると南京政 所は彼等を救済するに決し旅

に誇る模範コート三面が

私式庭球部女子

延吉驛附近

日午後七時半から肉弾相搏つ を猛練習をつじけてゐるが、

圓の補助では不足勝ちで

**小足勝ちである** いけてゐるが、

何を教へ何を告げるものであるか、刮目して御愛讀あらんことを!あらゆる新聞小説、長篇小説の上をゆくものである、希くはその結論において我等に

く、全議の覇者を目ざして連 際盟その他を遅へて動職すべ 際盟との他を遅へて動職すべ

よれば、京國線延吉驛附近は 辦事處から新京驛への電話に 一十四日午前零時十五分國們

にして、今度新京神社内に大同相撲部では更に大飛躍を前

して寄附を募ることとなつたため、この際斯道獎勵の意味

|▲野中支躁、落合支験▲チタ戦地の戦闘に從車▲大正九年凱旋|

右に就き加藤保安主任は無る 未だ廻り舞台のとり除けに ついては許した譯でない、 この問題については一應與 行者並に市民の意見を聞い

國際對全新京 は二十五日午後四時から西公 は二十五日午後四時から西公 球戦戦延期 居 住 消

本井上五郎氏(編島縣)大連から中央通り一番地ノ十五新村方へ ・ 情張八吉氏(東京府) 花崗町二丁目四番地ノ十五新村方へ ・ 情張八吉氏(東京府) 花崗町二丁目四番地ノ十五新村方へ 息

市民の意向

加藤保安主任談

◆本方へ ▲星原喜之助氏(鹿兒島縣) 宮廷府前青木町池部方へ 幸天から中央通り八番地三 郷洋行へ 本天滿久治氏(樺太)大和通 り四十七番地へ (二) 多摩 (二) 三國二〇錢 (二) 三國二〇錢 (二) 三國七〇錢 (單) 三國七〇錢 (單) 三國七〇錢 (單) 一九國二〇錢 等外 一八國六〇錄 等外 一八國六〇錄 (一) 松風 (騎手有吉) (一) 松風 (騎手有古)

▲ 柴 遊喜及一氏三笠町四丁目二十六番地から石碑嶺炭坑附属 ・ 日六番地から古野町二丁 ・ 日六番地から古野町二丁 ・ 日六番地から古野町二丁 ・ 日六番地から古野町二丁 ・ 日本福通り七十 第九競馬(三頭)一〇圓九〇銭 第九競馬(三頭)一六〇〇米 (一)大刀風(騎手濟水) 一一分二一秒五分/四

(単) 四国四〇銭 「本学」 四国四〇銭 「本学」 四国四〇銭 「本学」 一〇国三〇銭 「一)秋勇・騎手高尾) 「一)安東光 「一)安東光 「一)安東光 「一)安東光 「一)安東光

(二) 三間八〇銭 (二) 三間八〇銭 (二) 三間八〇銭 (二) 三間八〇銭 (単) 一四間八〇銭 (単) 一九間九〇銭 (単) 一九回四〇銭 (単) 一九回四〇銭 (単) 一九回四〇銭 (単) 一九回四〇銭 (単) 一九三間四〇銭 (単) 一九三間四〇銭 (単) 一九三間四〇銭 (1) 千里(騎手清水) 一五回二〇銭 (1) 千里(騎手清水) 二分二三秒

▲千葉辰夫氏(敷島通り六號 リ四・大女茂子さん十七日 第三日目競馬 地)長男光之さん十六金香氏(住吉町二丁目 嗣嗣

橋彩票一等 等外等

四、天候恢復を得て臨時濟潔」。、最終の捕獲を獎勵し補獲 容疑ある場合は適宜の指

故大久保伍長

月十一日午前二時梨樹縣三江日南方十粁三台屯附近に於て上烈たる戦死を遂げ護國の鬼

無言の凱旋をする事になつた
・ 無言の凱旋をする事になった
・ 本る八月二日午後二時四十分四
・ 本省經濟四時發で一路内地へ
・ 年省經濟四時發で一路内地へ 大田 電視 に進んで開発の引下・電視するに進んで開発の引下・電視するをは、更に進んで開発の引車に進んであるがおは今回の通事が漸次貨物がおは今回の通事に進援大され、更に進んで開発の引車に造機大され、更に進んで開発の引車が漸次貨物がある。

勇士の置を送迎せられたく、

今

般

左

K.

ま

がは、 対量は八月十六日職会の豫定であると であると あると 重輸人を計事してゐるもので

事務所員

第二回鎖開四公地方事務所員

業 開 披

醫九

學

太祝士科

子叮龜

堂二川

隣目郎

東丁

康德

をかりて御禮申上ます、炎暑の折柄皆樣益々御自愛 遊ば辱ふしまして、感激致して居ます、御伺致しま して糾禮辱ふしまして、感激致して居ます、御伺致しま して糾禮辱ふしまして、感激致して居ます、御伺致しま して糾禮辱がしまして、感激致して居ます、御伺致しま して糾禮を後に郷里宮崎縣都城市前田町に歸らせて頂きますが、皆樣益々御清榮の御事と存じます、異共住み馴れたる新京皆樣益々御清榮の御事と存じます、異共住み馴れたる新京 され、愈々御多幸の程御祈申上ます

7

最 家 B 族 簡 連 易 御 n 來 K 談

開

H

設備 5 衆 消防除横給水所既 て 御 è 息 隣通

產 服 腰大

會

電話三八七八番三笠町四丁目五

急 告!!

大同大街三中井百貨店敷地前 大山木廠家具部

切叮嚀に康價を主義として皆様の御 設置して優秀なる技術者を以つて親 家具需要激増の折當木廠に家具部を 電話三一一一番

建冷室和將其一式庫飾具盤 将棋般 雀風 卓呂

命に應じます

などは研究の

七四國九〇餘

といふことが忘れられてゐ 機会が少いので割合に化粧 のないないない。 で割合に化粧 を見かけて

紹介して新京のご婦人に早く 起るといふ河野先生のお話を せん、婦人の社交團体機關でたが京には新京好みとい

飛除に入職本部付を命ぜらる▲豫備陸軍歩兵少佐從六位

を かける とではお と かける と かける と で は 余り 見 受

和美姓院仕事中の河野さん) 和美姓院仕事中の河野さん) ために緩をつけたことが展 なりました、新らしい化 をありました、新らしい化 にといふことに目標を置い てゐます、個性を出來るだ け生かす事が第一とされて るます、その點は満洲婦人 の方が思ひ切りが良いやり 現いてるる格構は余り賞めですが、服の下からお腰がないやうです夏になつて殊 精人の洋装は洗練されてゐ 間ではないと思ひま

男子のため希望しておく

=

旅費支給

李杜が南京政

男子禁制の婦人の世界へ! 殿見たさに置るやうな心を押へて大和通り大和化粧院の階段で大和化粧院の階段

を待つ断髪縮人が満人官更夫 選はあるまい、二時間後には にれら美しく化けた(失體) にれら美しく化けた(失體)

| 指導者マリー、ルイズ女史に | 権威者として内地婦人洗行の

さあげるために昨年十月大棚 技術をもつて朝京婦人界を勝

**指電、前東北炎勇軍領袖** 

切つた鏡の中の

ふのかと思ふと答惑ろしくな

馬占山等に

た 満州里の東方廿七キョのハバ サイチェフスキーに到着した 大子・エスキーに到着した が水路の狀況によつてはハイ

早く美しくなって下さ

大和美粧院

河野光江さん

イラル廻航

職場覗き

(七)

しいと思つて居

ものですか ・ 実庭用とし ・ 実庭用とし ・ 実庭用とし

氏すかお

優れたその性能のかず

電氣冷藏機座談會

中央公館と言ふ様な多 O氏、満洲は殊にチブス等の つて居りますが ては居りますが ては居りますが

有風子送別句會有風子送別句會

日

めけり精霊舟

大南原帆舟巻なき浦曲かな 胡麻の花落して南吹き晴れぬ 流燈や煩惱の灯のなかなかに

飛べる谺かな

浮ひぬ精護舟

タまぐれ

.h.h. J

約で高尚な

食道樂

入船町ニー七

や木下圏

ろの律や木下





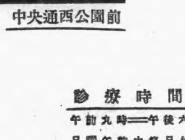


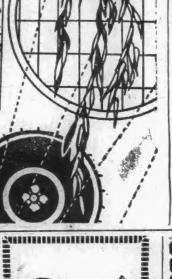


迄本頭ヒマス



療時 間









行列が樂しさらに語らひながかにただよふ海岸通を虞黑なかにただよふ海岸通を虞黑な の壁が洩れで聞える。先 た。みず方

~1 「 使葬聞三路)

水泳日誌

お氏 私のところは昨年買ひ たこ十四も排つて居たの に八国位で濟む様になりま

國產品!

**大調石炭 満鐵指定販賣** 廣 告

· 花 吳 座

各種材料

泰山

木

局製材

#OIL III

の御用命は!!

鵜殿兄弟商會

ホロ 要替 修理 ・ボデイ、喧響差要型 ・ボデイ、喧響差要型 ・ボデイ、喧響差要型

日本橋通大〇

泰山行自動車部

意話二四八二十日

所屬品全部取揃へて居ります 日本機通べつ ■糖三 五六季

お産なさるなら

新京朝日通一九(朝日通交番所顧)

博愛麗產院

字野のぶよ

世氏寸

快を求める、ハイヤーを騙つ らずこの並本道にドライザの らずこの並本道にドライザの

かぬまは、 る流燈かな 

丸 時==午後六時

**澳製** 造部 アノイソス工事部

定話の四大八

リーニング

專門店

熊本屋

◎御一報次第見積に参上可仕候◎ 公益的會支店

油衛水煖機 脂生道房械 **逾** 陶 用 材 工 品料具 東 100円円 日本七字

に看板を立てますかなアハ機を使つて居りますと門口

座居ました………散會益なお話を承つて有難ふ

五十回丁一町装蓬京丁半个西疆察警京新

三笠町二丁目十一番地 閑靜で

家族的に御利用の程を…… おちついた御座敷! 鍋料理

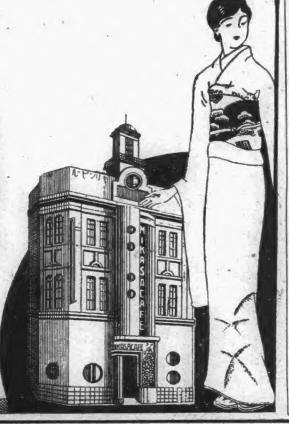
たいます!! に特に安く御相談には特に安く御相談に 世話ニセハ三番 八三番

○急告

ドライクリーニングの

責任ある専門店へ御用は安心の出來る 御下命下さい!!

N



引越荷物荷造 工事用材料運搬 海陸貨物運送 自昌圖公司支店 本店大連吾妻驛前 新京富士町五丁目

電話四八人船町四 (新京百貨店積入)

樂道食

新築ー御氣持まき御座敷

国の横に物量らしい建物があり一分になられ、ホット一呼吸へれる

れてゐる手頃の丸太解を拾った。

走りながら古兵衛は地上に行印

自分だけが隠れ場所を得たからと

しかし似之本の身上をおへると

云つて好意でるては詩まないやう

醫學士上

山源

電話四八

三八番一呼出

取扱懇切の保険は信用厚く

御申込は

命

新京代理店

和

2000年第一年

朝日通り二一(とどろき前)

との地位界の土屋が減

上つて来た。

音兵衛の身間は既に駆逐院団隊

院ではの形式では、

方がよかつたかもしれない。聖師 たら最初から時即内に通げる

酸の路径に短続を持つ数之水がりと云はうか、知つてゐても水

同上 下 揃

レインコー

替へズボン

業

刑事 民事

司法代書

部四 訴訟

元札幌地方裁

務

會量 設立 而熱新設並三

代書業八\*

夏の籔製洋那類

かつた。

一でくれた。青八郎は柳溪看いた頭

したものが崩かの手は辿ってるな

歌風といはうか。 其處には何う

方へ起り、それから厨の倒へとか

電話三四六六番

行

聖女

**責任を以つて推奨出來る!!** 

(容器一動度、五封度罐入)

同

重引建

越荷造

運搬

滿洲運輸公司

電話 二七一

築

材 料

運

搬

63

開始に製色「岩城セメン

トカラ

田

(四) が、向って短続の『を施すと、 を対徴の数も見えたが、をされが を対徴の数も見えたが、をされが 本気にのい場の破万に織出期之 寺の境内 日; CITE OF 0

んと本質前の段階を地上へ降りたと見ると、それこそ眺の迷げるや と解うて行った。地上大関西のは でゐるのは此の樹だなと苦兵衛は 地上二朝年ばかりの最にあつて りやうに気をつけた。 思つた。それへきつと眼をつけ と上へ登り始めた。しの館を小 と直くい元へいかかり、する 最初の特別

数は、すつぼりと似の身はを包んの田宛ない怪一部つた後や刑害な あつたので共に一般をすれた。 に腰をおろすと下合のい、枝紙 眠み付け出すこと

てきに飲今の心ちや辿い かだれを打つて後へと引いて見え 吉兵衛は尺八を握って、 「それでは、おさらばで御座り

を交錯してるる動物けて高いない と交錯してるる動物のは適が二本並んで立つてるたってあってるたっている。

大

共 グ 床 歴 鐵 並 軸 リ 掃除機用油油油 他 ス 油油油油 店理代 陸海軍鐵道省指定工場 丸善礦油會祉

代新 理京 店権 電話四七九〇番

カベ塗料カセインの特價提供の 司

御接客 御商賣も御繁昌• 仁丹趣味の一致で 七丹がきの時世だから 七月がきの時世だから



●診療時間● 日曜祭日午前中自午前市 同 話二六〇六番 醫院

**常學工程理都**實伏受領:蒙各界御指定御採用常園發明協會全牌受領

機能特別官断スプカ

外科、性病科

●特に領事点提出機類につき慰切 新京領事館西隣電話四七七三番 老清泰 判所構內

塗水 湖 湖 勝 用

化

學研究所製品

宮崎紐刻京出張所

7

卸小賣

●價格低康=|剝落せず==美術的……

味はよい 荒 कि

性內

病、痔疾科~

アヘン、モヒ ヘロイン中毒

東郷

月號出尚世左

いどから我のがへ廻り、心度手配一部であるとり定めると、なまじ

一層にを呼けて様子に違ひなから

御入浴の

電話三七三四番

電話三八三四番

の御用

II

木 橋

七

四

院随意

和 話 三七五六季

傳記小說。

代診生並に看護婦入用

洋

行

準備ある

あるとりは、比談に関わてある方

八尺と離れない

やない。音長がけ、

し其處かうつ々と木の茂る庭の

込んだい人が、切りなであると口

御料理

それらやつば ぬいだのほれ

し日時きの頻像とて出来るもの

所であると心明くと、

ことが出来なかつたのか、思も 張ってゐるのに恐れをなして

自分にしても数之がにしても切り

然う思つて自分の息が至らなか

なつを

鰻

料

理

梅ケ枝町一丁目十ノニ

人は出外ないのではないか」

な話三

西りまん

引越 荷物 地 荷物

に御相談に應じます

一、電話交換機一、電話機一、電話用器具、機械 材一、電話交換機一、電話機一、電話用器具、機械 材一、外線建設 屋内用電話機 一、電話用器具、機械 材 新京電話工業株式會社 新京電話四九八一、三七三二番

目

冷

名代の手打

冷そうめん

出前迅

大和通二

御用命は定評ある お寫眞の ズン!!

林田寫眞館

● 100 中央通警察署向

作用は愛NINOO番へ

日 出 月 元 10 日子 東郷元神を語った記事は今迄に東郷元神を語った記事は今迄に東郷元神を語った記事は今迄に 父を語る 號の 呼

**并本運送店支店** 新京祝町二丁目 郷元帥の日常生活

買品用不師 は 新世帯道泉敷**经屋商店** 祝町三自新京キネマ前

御電話次第直子三参上電話三八四三番取次

地番八目丁一町榮永京初

行洋長



多少に不拘御電話大郭参上いたします 常店を御利用願ひます である。 ののでは、 のでは、 のでは、

支店 本店

宫

朝陽、